



郡山おもちゃの病院
会長

つぎ た よし まさ
次田 喜正さん

大切な宝物に再び命を おもちゃの病院が開院中

毎月第2日曜日。郡山市のニコニコ子ども館3階の研修室には、午前10時の『開院』と同時に、親子連れが続々と訪れます。

手にしているのは壊れてしまったおもちゃ。「音が鳴らない」「動かない」。そんな症状を『治療』してくれるのが、「郡山おもちゃの病院」です。活動を始めて10年。5,400件以上のおもちゃを治してきました。

「当初は患者さんが2、3人だけの日もあったのですが、今はひとり何件も掛け持つて治療しています。午前中に預かって、夕方にお渡しできるよう、がんばって治しています」

そう語る会長の次田さんをはじめ、おもちゃの治療にあたるドクターは全員がボランティア。機械関係の仕事の経験がある方や、模型作りが趣味の方、孫が生まれたのを機におもちゃを治せるようになりたい方など参加の理由はさまざまです。

知事 だより

知事の
活動を伝える
コーナー!



福島県の農林水産物のおいしさや品質の高さを東京でPRしました

福島県の食材の魅力を世界に発信するため、首都圏等の流通・販売を担う方々との交流会を開催し、生産者や農業高校の皆さんと一緒に、福島の食の豊かさや安全・安心の取組をPRしてきました。

これからも、一人でも多くの方々に県産農林水産物のおいしさや生産者の誇り「ふくしまプライド。」をお伝えできるように、トップセールスなどを積極的に展開していきます。

ふくしまプライド。食材博 ～食の交流会～



福島の食材の販売拡大を図るため、流通・販売を担う皆さんと交流を深めました。



▲ 母体は「日本おもちゃ病院協会」という全国組織。郡山市ではシニア層を中心に18人のドクターが在籍し、研修会や治し方講座などで技術を上げています。



▲ 受付で丁寧に「問診」をしてお預かり。ドクターがおもちゃを治療する様子も見学できます。



▲ 治療費は無料(部品代は必要)。ゲーム機など一部受け付けていないおもちゃもあるので要確認。



【問い合わせ先】
郡山おもちゃの病院事務局
☎080(5733)7408
(受付時間 午前10時～午後4時)

郡山おもちゃの病院
検索

が期待されています。
つながり、子どもたちの物を大切に
する心も育む、そんな場になること
が期待されています。

「治してあげてではなく、治させて
もらっている」という意識が大事」
と話す次田さん。現在は郡山市内の
ほか、本宮市のえぼか、福島空港で
も定期的に開院していて、今後は県
内の他の地域にも活動の輪を広げ
たいと考えています。

「子どもたちが愛着を持って遊んで
いるおもちゃなので、『形がいびつで
も動けばいい』ではダメ。子どもの心
に寄り添って、おもちゃにまつわる思
い出も一緒に治すつもりで取り組ん
でいます」

「子どもたちの喜ぶ顔を見るのが
何よりの楽しみ」というのがドク
ターたち共通の思い。「重症」の患者
がやって来たときは、全員で知恵を
出し合って治療に臨むこともある
そう。

外から見た福島のイトコロ教えます

ふくしま

二重
マル

町のお祭りでは
屋台に乗って
盛り上げます!

シャノン・
イェクリーさん
(アメリカ出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。

第15回は、棚倉町で英語講師と国際交流員をしているシャノンさんです。

歴史や伝統文化が大好きです!

棚倉町にはALTとして赴任しましたが、今では教員免許を取得して、小・中学校で英語を教えています。歴史が好きなので、亀ヶ城公園や神社など、棚倉の城下町らしいところがお気に入りです。

休日は剣道や弓道などの稽古をしています。“心を磨く”武道は奥が深くて面白いですね。10年前から古殿町の流鏝馬大会にも出場しています。いつか相馬野馬追にも出てみたいですね!



流鏝馬の衣装も自前でそろえました!